

2020年6月5日

リモート応援システム初となる“生配信試合での公開実験”をジュビロ磐田と実施

6/13(土) ジュビロ磐田 トレーニングマッチ (vs アスルクラロ沼津) 場所: ヤマハスタジアム

ヤマハ株式会社(以下、ヤマハ 本社: 静岡県浜松市)は、ジュビロ磐田(本拠地: 静岡県磐田市)の協力を得て、現在ヤマハが開発を進めるリモート応援システム『Remote Cheerer powered by SoundUD (リモートチアラー パワード バイ サウンドユニバーサー)』の実証実験を、6月13日(土)にヤマハスタジアム(静岡県磐田市新貝2500)で開催されるジュビロ磐田のトレーニングマッチ(サッカー練習試合)にて実施します。

試合は無観客で行われ、サポーターの皆様がリモート応援に参加する公開実験となります。生配信される試合と連携しての公開実験は今回が初となります。

なお、『Remote Cheerer Powered by SoundUD』を利用したサポーターの皆様のご参加方法につきましては、後日ジュビロ磐田のホームページにて案内される予定です。

<対象試合(トレーニングマッチ)>

開催日	対戦カード	会場
6月13日(土) 18:00~	ジュビロ磐田 vs アスルクラロ沼津	ヤマハスタジアム

※トレーニングマッチの様子はDAZNでも生配信されます。

<リモート応援システム『Remote Cheerer powered by SoundUD』>

昨今、テレビやラジオのみならず、ストリーミング配信、パブリックビューイングなどを通じて、音楽ライブやスポーツ中継、講演会などを離れた場所から鑑賞する機会が増えつつあります。しかし一方で、遠隔地やご自宅で鑑賞される方の熱い声援を会場に直接音で届けることは出来ていません。

本システムは、こうした課題を解決するために開発が進められている特許出願済みの新技術です。子育てや入院などで会場に行きたくても行けない方や、海外などの遠方にお住まいの方でも、対応アプリを使用することで、ご自身の声援を会場に設置したスピーカーを通じて、音で現場に届けることができます。

ほかにも、中継を見ている方だけが応援に参加できる機能や、放送と連動して視聴者限定コンテンツやサービスをスマートフォンに提供する機能、ユーザーから送られてきた音声に連動して会場のサイネージの表示コンテンツを切り替えたりする機能など、「SoundUD」[※]の技術を活用して、遠隔地と会場をつなぐインタラクティブな演出を容易に行えるシステムです。

・「ニコニコネット超会議 2020」での実証実験: https://www.yamaha.com/ja/news_release/2020/20041401/

※「SoundUD 推進コンソーシアム」(事務局: ヤマハ株式会社)が普及推進する音のユニバーサルデザイン(Sound Universal Design)を実現するための技術。「SoundUD」対応スポットでは、対応アプリを通じて、音や空間と連動して、その場で必要となる様々な情報を簡単にアクセスできます。本技術を活用し、日本語によるアナウンスなどの音声听不懂の方にむけ、多言語の文字を提供することで情報保障をサポートする「おもてなしガイド」アプリ(提供元: 一般社団法人音響通信協会)などが展開されています。

*その他、文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当: 新川(あらかわ)

TEL: 03-5488-6601 FAX: 03-5488-5060

WEB: https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ リモート応援システム『Remote Cheerer powered by SoundUD』に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 クラウドビジネス推進部 SoundUD グループ

MAIL: soundud-ml@music.yamaha.com WEB: <https://soundud.org/service/>